

CHRIS PATTEN

▪ Former Governor of Hong Kong and European Commissioner

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Christopher Francis Pattenは1944年に生まれ、ロンドンとオックスフォードのBalliol Collegeで学びました。現代史の学位を取得した後、彼は米国へのクーリッジ旅行奨学金を獲得しました。

クリス・パッテンはキャリントン卿とホワイトロー卿と保守的な研究部の政治秘書として内閣府で働いていました。彼は1974年に保守的研究部の最年少の長に任命され、1979年までマーガレット・サッチャーのもとでそこで働きました。その年に彼は1992年4月まで彼が席を握っていたバースの国会議員になりました。保守主義の研究。

Topics

- Government
- Politics

北アイルランド事務所、教育科学省、海外開発省で閣僚を務めました。彼は1989年に同年に国務長官国務大臣になり、1990年11月には保守党の議長に任命され、そこで1992年の選挙運動を成功させました。

パッテン卿は1992年から1997年まで香港の総督であり、中国へのテリトリーの帰還を監督していました。彼は1998年から1999年までのグッドフライデー平和協定の下で設立された北アイルランドのための警察に関する独立委員会の委員長でした。

パッテン卿は1999年に欧州外交担当委員に任命され、2004年11月までこのポストを務めました。彼は1998年に名誉の仲間に任命され、2005年に衆議院議員になりました。2011年から2014年までの放送局の権限。2010年に英国への教皇ベネディクトの訪問を調整するのを助け、2014年にバチカンメディア諮問委員会の委員長になった。

数々の名誉学位を取得し、1999年から2008年までニューカッスル大学の学長、2003年にオックスフォード大学の学長に選出されました。2004年から2011年まで国際危機グループの議長を務め、英国 - インドラウンドの共同議長を務めました。2006年の表

パッテン卿は、East and West 1998 2005年の世界情勢についてのNot Quite The Diplomat 2008年の21世紀を生き残るための本の数々を書いています。

パッテン卿は1971年に弁護士のラベンダー・ソートンと結婚しました。彼らには3人の娘、ケイト、ローラとアリス、そして8人の孫がいます。